



承認図

音声データ集中管理システム VR-900CES 13RR

本仕様はアプリケーション Ver.4.0.0.2 以降に準じています。



仕様書

音声データ集中管理システム VR-900CES 13RR

本仕様はアプリケーション Ver.4.0.0.2 に準じています。

商品概要

VR-900CES 13RR(以下、本装置といいます)は、録音装置(注)で録音された音声データや、通話録音サーバ VR-900VLA SV/VR-800VLA SV/VR-700VLA SV、対面録音サーバ VR-FTF10VLA シリーズで収集した音声データを、ネットワーク経由で収集し集中管理することができる装置です。本装置の形状はラックマウント型で、保存時間は最大約 13 万時間です。

本装置に収集された音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンから Web ブラウザまたは「LAN 再生ソフト VR-LS900CES」により録音内容を各種の条件で検索して再生することができます。また、通話録音装置 VR-L140 シリーズを対象として、ユーザー管理する「ログイン認証設定ソフト」があります。システム構成の例を下図に示します。

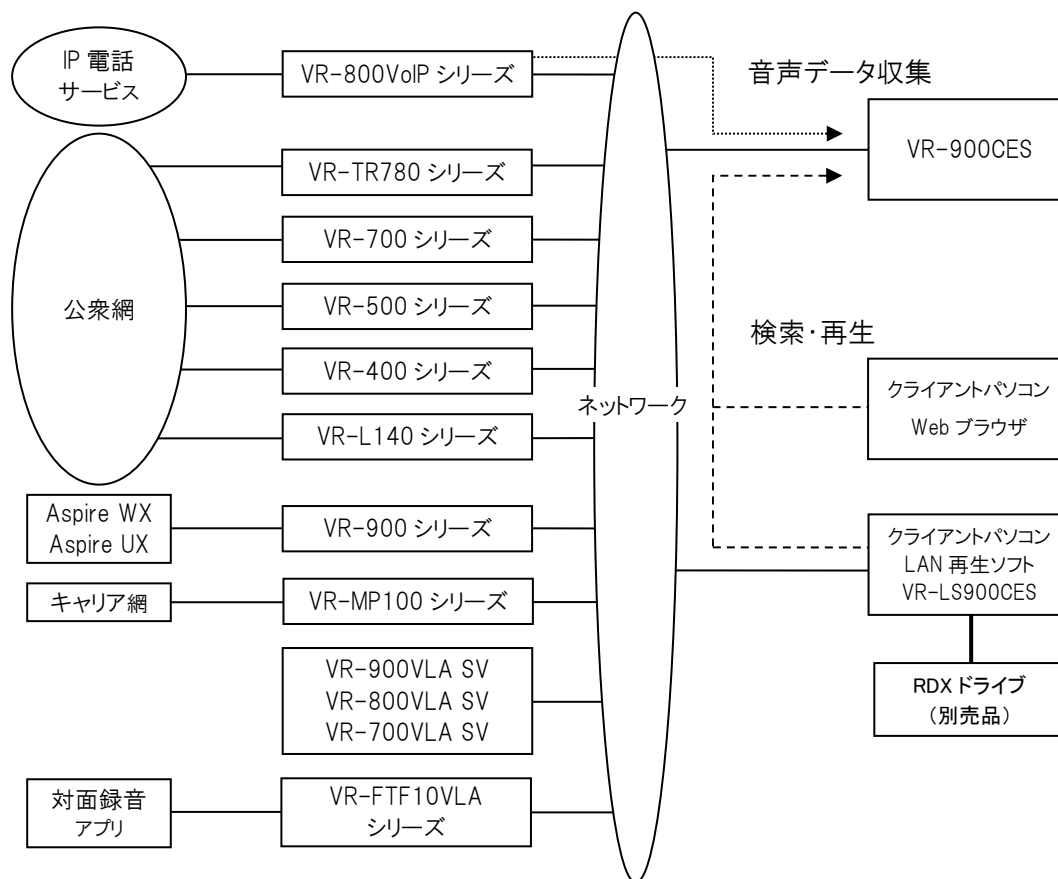
(注)当社の録音装置には、通話録音装置 VR-900/VR-800VoIP/VR-TR780/VR-700/VR-500/VR-400/VR-L140 シリーズ、および携帯電話通話録音システム VR-MP100 シリーズの各装置があります。

※VR-900 シリーズには VR-910 WX/VR-900 UX があります。

※VR-800VoIP シリーズには VR-860VoIP/VR-820VoIP/VR-850VoIP/VR-810VoIP シリーズがあります。

※VR-700 シリーズには VR-755/VR-765/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-700 シリーズがあります。

※VR-500 シリーズには VR-510/VR-500 シリーズがあります。



主な機能

収集対象の通話録音装置

本装置が音声データを収集する通話録音装置は次の各装置です。

- ・通話録音装置 VR-900/VR-800VoIP/VR-TR780/VR-700/VR-500/VR-400/VR-L140シリーズ
- ・携帯電話通話録音システム VR-MP100シリーズ
- ・通話録音サーバ VR-900VLA SV/VR-800VLA SV/VR-700VLA SV
- ・対面録音サーバ VR-FTF10VLAシリーズ

通話録音装置の接続数は、最大で500台まで登録ができます。

※「通話録音サーバソフト VR-900VLA/VR-900VLA L/VR-800VLA/VR-800VLA L/VR-700VLA」をインストールしたパソコンは対象外になります。

検索・再生

音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンで検索・再生することができます。検索・再生の手段として、Web ブラウザと「LAN 再生ソフト VR-LS900CES」があります。

※利用できる検索キーは、収集対象の通話録音装置の仕様や接続条件により制限があります。

(1) Web ブラウザ VR-900CES web voice player

Web ブラウザから本装置にアクセスして「シンプル入力」「詳細入力」の2通りで検索・再生することができます。

・「シンプル入力」検索項目

- ①電話番号グループ ②通話録音装置 ③発信/着信 ④日時 ⑤電話番号 ⑥相手番号 ⑦表示名等

・「詳細入力」検索項目

- ①電話番号グループ ②通話録音装置 ③発信/着信 ④日時 ⑤電話番号 ⑥相手番号 ⑦オペレータ ID
⑧内線番号 ⑨表示名 ⑩通話時間 ⑪再生フラグ ⑫分類 ⑬メモ ⑭内線名 ⑮オペレータ名
⑯グループ ID ⑰その他

※「Web ブラウザ(検索・再生)機能」と「VR-L140 ログイン認証サーバ機能」は、同時にはご使用になれません。

(2) LAN 再生ソフト VR-LS900CES

LAN 再生ソフト VR-LS900CES をインストールしたクライアントパソコンから本装置にアクセスして検索・再生することができます。検索項目は、Web ブラウザの「詳細入力」と同様です。またバックアップメディアの再生も行うことができます。音声データは、同一ネットワーク上に接続されたクライアントパソコンにインストールした「LAN 再生ソフト VR-LS900CES」で次の項目をキーにして、検索・再生することができます。複数のキーを組み合わせることも可能です。

- ①通話録音装置/電話番号グループ ②日時 ③発着信 ④表示名 ⑤担当者 ⑥自番号 ⑦自サブアドレス
⑧相手番号 ⑨DTMF 信号 ⑩通話時間 ⑪再生フラグ ⑫メモ ⑬分類 ⑭オペレータ ID ⑮オペレータ名・
内線名 ⑯内線番号 ⑰オペレータグループ ID

※音声データの検索・再生には、本装置に保存されているインデックスを参照します。本装置にインデックスが保存されていないと検索・再生できません。

※本装置とクライアントパソコンはネットワーク接続されている必要があります。

【バックアップメディアの検索・再生（LAN 再生ソフト VR-LS900CES）】

音声データの再生を行ったときに、対象の音声データがサーバのハードディスクに無い場合は、バックアップに使用したバックアップメディア（RDX カートリッジ）から、音声データを再生することができます。

※RDX カートリッジの再生を行う場合は、クライアントパソコンに RDX ドライブ（別売品）が必要です。

※RDX カートリッジにバックアップされた音声データを直接検索・再生することはできません。

音声データの収集

録音内容（音声）とインデックス（録音日時や発着情報などの録音情報）で構成されている音声データは、収集する曜日と開始時刻・終了時刻を指定して収集することができます。指定した時間帯以外はデータ収集を行いませんので、日常業務に影響がない時間帯を指定して音声データの収集を行うことができます。収集時刻は最大 7 つ登録できます。また録音内容とは別にインデックスのみを収集する時間帯を指定することができます。

音声データの保存時間

本装置のハードディスクには、約 13 万時間分の音声データを保存できます。約 13 万時間を超えた場合は古い音声データから消去され、常に最新の約 13 万時間分がハードディスクに残ります。

※保存時間は VR-400 シリーズの録音、VR-500 シリーズのモノラル録音、VR-900/VR-800VoIP/VR-TR780/VR-700/VR-L140/VR-MP100 シリーズの標準モノラル録音を保存した場合の算出時間になります。

バックアップ

収集した音声データは、RDX カートリッジにバックアップ保存することができます。バックアップ方法は次のとおりです。

〈バックアップ方法〉

・自動バックアップ

定時：毎日設定した時刻にバックアップをします。

間隔：一定時間間隔でバックアップをします。

・手動バックアップ

手動操作でバックアップをします。

〈使用方法〉

・ミラーリング：2 つのドライブに同じ内容をバックアップします。

・順次：1 つ目のドライブが満杯になると、2 つ目のドライブにバックアップします。（最大 3 台）

・順次+ミラーリング：ミラーリング設定した 2 つのドライブに順次バックアップします。

（4 台以上のバックアップドライブが必要となります）

〈グループ別のバックアップ〉

・あらかじめ複数の通話録音装置をグループに分け、グループ別にバックアップします。

（最大 5 グループ、グループ数分のバックアップドライブが必要です）

※RDX カートリッジにバックアップされた音声ファイルは、本装置では再生できません。バックアップメディアの再生は、クライアントパソコン（LAN 再生ソフト VR-LS900CES）で本装置にログインして行います。この場合クライアントパソコンには外付けの RDX ドライブ（別売品）が必要です。

アラーム機能

＜アラームメール通知＞

本装置が次の状態になったときに、指定したアドレスにメール通知することができます。メール通報先は最大 5 か所まで登録できます。

- ・監視対象の通話録音装置のバックアップメディアが満杯状態になったとき
- ・本装置との接続やシステムが異常状態になったとき
- ・本装置の RDX バックアップメディア満杯状態やシステム異常になったとき

＜状態報告メール通知＞

上記アラーム状態の情報を毎日定時に状態報告として指定したアドレスにメール通知することができます。メール通報先は＜アラームメール通知＞と同様の通報先です。(最大 5 か所)

＜システム監視ソフト VR-AL900CL＞

本装置や通話録音装置のアラーム発生時には、システム監視ソフトをインストールしたクライアントパソコンにて、本装置からのアラームを受信することができます。通知クライアント数は 10 台まで登録できます。また、このクライアントパソコンから本装置との接続が確認できない場合の『アラーム通知』および本装置と同様の『状態報告』を指定したアドレスにメール通知できます。通知先は 5 か所まで登録できます。

セキュリティ

本装置の登録設定操作、および本装置に接続しての検索・再生操作に制限を設けることができます。ID・パスワードを知らない人は本装置の登録設定、検索・再生操作をすることができません。

本装置で収集対象とする通話録音装置に登録されている情報(契約者回線番号・自番号・表示名など)をグループ化して操作権限を付与することもできます。

ユーザーは最大 500 人、電話番号情報は最大 6000 件、電話番号グループは最大 300 まで登録できます。

パスワードポリシー

上記セキュリティ機能にパスワードポリシー設定をすることができます。

- ・パスワード変更許可 :ユーザーによるパスワードの変更の許可。(初期値「許可しない」)
- ・パスワードの長さ :パスワード設定時に必要な最低文字数(1~14 文字)を設定。(初期値 1 文字)
- ・パスワード要件 :パスワード使用文字を英大文字、英小文字、数字、記号の中から 3 種以上に設定。
(初期値「設定しない」)

パスワード世代管理

ユーザーごとに登録したパスワードの履歴を記録して、最大で過去 24 世代のパスワードを再利用できないようにすることができ、パスワードの使い回しを防止できます。

音声データの自動削除

録音内容およびインデックスは、一定期間経過後、自動的に削除することができます。期間は録音後 1 日から 4000 日が選択できます。

時刻修正

NTP サーバによる時刻修正ができます。

ログイン認証サーバ機能（VR-L140 ログイン認証設定ソフト）

通話録音装置 VR-L140 シリーズを対象としたオペレータを管理するための機能で、次の特徴があります。

- ・オペレータがパソコンから本装置へログイン操作することにより、ログイン操作したパソコンと対となる通話録音装置 VR-L140 シリーズで録音した音声データに、ログイン操作したオペレータ情報を記録することができます。
- ・本装置で通話録音装置 VR-L140 シリーズの音声データを収集後、オペレータ ID やオペレータ名をキーとして検索・再生ができます。
- ・管理者権限にて本装置にログインすることにより、複数オペレータのログイン状況を把握することができます。
- ・オペレータはグループに分けて管理することができ、グループの管理者以外による通話モニターなどの操作を制限することができます。グループ数は最大 100 まで登録できます。

※「Web ブラウザ(検索・再生)機能」と「ログイン認証サーバ機能」は、同時にはご使用になれません。

ドライブの暗号化

<HDD>

Windows のドライブ暗号化機能(BitLocker AES256)により暗号化しています。

<バックアップメディア>

Windows のドライブ暗号化機能(BitLocker To Go AES256)により暗号化できます。

主な仕様

■VR-900CES

ネットワーク接続方式	通信プロトコル……………TCP/IP、HTTP、FTP、UDP インターフェース……………1000BASE-T(1Gbps) (※1)
通話録音装置登録台数……………	最大 500 台
収集対象通話録音装置	VR-700/VR-700P ……Ver.1.4.0.9 以降 VR-464/VR-408 ……Ver.3.3.3.0 以降 VR-448PRI……………Ver.1.1.5.0 以降 VR-432BRI……………Ver.1.1.3.0 以降 VR-508A ……Ver.1.04 以降 VR-508H……………Ver.1.00 以降 VR-504BRI……………Ver.1.00 以降 VR-700VLA SV……………Ver.1.1.0.0 以降 VR-900/VR-800VoIP/VR-TR780/VR-755/VR-765/VR-750/VR-760/VR-710/VR-720/VR-510/VR-L140/VR-MP100/VR-FTF10VLA シリーズ、VR-900VLA SV、VR-800VLA SV については初期バージョンから
通話録音装置グループ分け……………	最大 5 グループ
電話番号登録数……………	最大 6000 件
電話番号グループ登録数……………	最大 300 グループ
セキュリティユーザー登録数……………	最大 500 人
アラーム通報	メール通報先……………5 か所 (※2) クライアント通報先 ……10 か所
インデックスデータ(※3)	保存件数……………約 3 億件 (※4)
バックアップ媒体……………	RDX カートリッジ、対応容量:500GB、1TB、2TB、4TB
検索・再生	検索・再生方式……………専用ソフト(VR-LS900CES)、Web ブラウザ 同時ログイン数……………最大 250 クライアント (※5) 同時再生数……………最大 250 クライアント (※5) 検索方法……………日時指定、発着信情報指定など 再生方法……………リピート再生、送受話分離再生など (※6) 再生装置……………クライアントパソコンのスピーカ

※1 「100BASE-TX(100Mbps)」のネットワークに接続する場合は、別途、「1000BASE-T(1Gbps)」
「100BASE-TX(100Mbps)」に対応した、スイッチングHUBをご用意ください。

※2 SSL(暗号化通信)に対応しています。

※3 1通話毎に保存される、録音時の「開始日時」「終了日時」「電話番号」等の情報で、1通話1件として扱います。

※4 動作可能な最大件数になります。

※5 専用ソフト(VR-LS900CES)、Webブラウザの操作を含めたクライアント数。

※6 送受話分離再生はステレオ録音された音声データが対象になります。

■Web ブラウザ

OS	Windows 10 Home/Pro/Enterprise、 Windows 8.1(無印)/Pro/Enterprise 日本語版 (※1)
対応ブラウザ	Google Chrome/Microsoft Edge/Internet Explorer 11 (※2)(※3)(※4)(※5)(※6)(※7)(※8)

※1 Windows 10(Sモード)/Windows RT 8.1は対象外。

※2 Internet Explorer 11は、デスクトップアプリ版のみ対応しています。

※3 Internet Explorer 11の使用するアドオン:Windows Media Player 12以降。

※4 Microsoft Edgeは、Chromium版にのみ対応しています。

※5 Internet Explorer 11は、正常にWebブラウザを表示・操作するために、「互換表示」機能を使用します。

※6 Java Script を有効にして使用してください。

※7 同一のクライアントパソコンにおいて、複数(異なる)のWebブラウザを同時に使用すると正常に動作しません。

※8 ピアツーピア方式の LAN 環境では正常に再生できない場合があります。このときは、Web ブラウザを再起動することで再生できます。

■VR-LS900CES

OS	Windows 10 Home/Pro/Enterprise、 Windows 8.1 (無印)/Pro/Enterprise 日本語版 (※1)
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスクドライブ	2GB 以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM または DVD-ROMドライブ(インストール時に必要)、 RDXドライブ(バックアップメディアの再生時に必要)
ディスプレイ	解像度 1024 × 768ドット以上、画面の色 High Color(16bit)以上
入力デバイス	キーボードおよびマウス、またはこれらと互換の入力デバイス
ネットワーク	100BASE-TX 以上のネットワークアダプタ(TCP/IPでLAN、WAN 接続 ができること)
サウンド	音声の再生機能があること

※1 Windows 10(Sモード)/Windows RT 8.1は対象外。

■ログイン認証サーバ

ユーザー登録数	オペレータ(通話者) … 合計で最大 999 人
	管理者 …………… 合計で最大 999 人
マスター……………	1 人
オペレータグループ数……………	最大 100 グループ
通話録音装置 VR-L140 シリーズ登録台数……………	最大 500 台

■システム構成

本体(RAID5)……………	HPE ML350 Gen10 Xeon Silver 4210R 2.4GHz 1P10C 16GB メモリ SAS/8SFF P408i-a/2GB 800W 電源
DVD-ROMドライブ……………	HPE 9.5mm SATA DVD-ROMドライブ
キーボード・マウス……………	HPE USB 日本語版キーボード/マウスキット
ハードディスクドライブ 1……………	HPE 600GB 10krpm SC 2.5 型 12G SAS DS ハードディスクドライブ 数量:6(サーバ用)
バックアップドライブ……………	HPE RDX USB 3.0ドッキングステーション(内蔵型) (※1)
TPM 2.0 オプション……………	HPE Trusted Platform Module (TPM) 2.0 オプションキット
ラックオプション……………	HPE ML Gen10 ラック搭載キット
無停電電源装置……………	HPE UPS R1500 G5(100V)
オペレーティングシステム……………	Windows Server 2016 R2 for Embedded Systems Standard (16Core、5CAL 付属)
データベース管理システム……………	Microsoft SQL Server 2017 Standard Edition for Embedded Systems (5CAL 付属)

※1 VR-900CES では、500GB、1TB、2TB、4TB の RDX カートリッジに対応

■ドライブ構成

ディスク 0 2,514GB RAID 5	(C:)	150GB (153,600MB)	(D:)	300GB (307,200MB)	(E:)	300GB (307,200MB)
	(F:)	1,814GB (1,857,536MB)				

ディスク 1 RDX ドライブ	(G:)
--------------------	------

CD-ROM 0 DVD-ROMドライブ	(Q:)
-------------------------	------

※各ドライブのディスク容量は最小必要容量を表します。

■VR-900CES 13RR 本体

引用元 : HPE ProLiant ML350 Generation 10 システム構成図 2021 年 3 月 4 日版

電源	100-120V(50/60Hz)
消費電力	最大 約570W
寸法	445(幅) × 678(奥行) × 175(高さ) mm
質量	最大42kg

※ラックへ取り付けの際は、サーバに付属の専用トレイ(1U)を使用しますので、サーバ(4U)とあわせて 5U のスペースが必要です。

■無停電電源装置 UPS R1500 G5

引用元 : HPE R1500 G5 UPS ユーザーガイド 2018 年 5 月版

電源	100V(50/60Hz)
出力	1200VA/900W
入力プラグ形状	NEMA 5-15P
消費電力	最大 約240W
寸法	437(幅) × 554(奥行) × 43(高さ) mm
質量	20kg

■外付け RDX ドライブ RDX-D USB HP C8S07B (オプション品)

引用元 : HPE サーバ製品 RDX リムーバブルディスク編 システム構成図 2020 年 11 月 19 日版

電源	USB バスパワー方式
消費電力	最大 約5W
寸法	110(幅) × 178(奥行) × 52(高さ) mm
質量	540g

※USB ケーブルのケーブル長が約 60cm と短いため、設置場所にご注意下さい。

添付品

取扱説明書 (VR-900CES用)	1冊
LAN再生ソフトVR-LS900CES (CD)	1枚 (5クライアント)
取扱説明書 (VR-LS900CES用)	1式
VR-L140 ログイン認証設定ソフト (CD)	1枚
RDX カートリッジ	1個
VR-900CES ラック取付資料	1冊
BitLocker回復キー	1枚
ユーザー登録カード	1枚
Windows Server 2016 for Embedded Systems Standard 使用許諾書	1式
Microsoft SQL Server 2017 Standard Edition for Embedded Systems 使用許諾書	1式

※商品名は、各社の商標または登録商標です。

製品の仕様は予告なく変更になる場合がございます。ご了承下さい。